2023年 10月15日 No.264　　発行責任者 田中 孝史

かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしん

第264号

郵政産業ユニオン PIWU TOKYO
郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031 東京都中央区京橋3−6−3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

夏期・冬期休暇の削減に関して

やはりこの削減はおかしい

会社は社員全体の労働条件底上げを行え

正社員に付与されている夏期・冬期休暇各3日を各1日になることへの不満と怒りの声が寄せられています。

最近、地本に寄せられた声

「4月に計画年休と夏期・冬期休暇をどこに指定するかの用紙が配られたので、その日程を記入した。それで承認されたと思っていた。しかし、最近になって冬期休暇を1日にするよう言われて削減されてしまった。しかも、充分な説明がないままだった」というものです。

こうした声があがるのは当然です。一端認めたものを削減するのですから酷い話です。

夏期・冬期休暇削減反対のビラ配布

労働条件改善に逆行する

最高裁は正社員に付与されている日数と同様の日数を非正規社員に付与しないのは不合理という判決を出しました。この判決からすれば正社員と同様に非正規社員にも各3日を付与するべきなのです。その判決の主旨を歪めて正社員の権利を削減し、正社員・非正規社員各1日にするのは許せません。これは労働条件を悪化させる何ものでもありません。

郵政ユニオンは正社員の権利を削減する均衡待遇ではなく全体の底上げを求める運動を引き続き強めていきます。

んぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしんぶんか